

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
23220稲沢市	②学校と地域の課題	05 その他	令和7年2月時点で各校1名の推進員の配置は概ね達成された。次年度以降の地域学校協働活動の実施に向けて、連絡調整や体制整備の確立を図ることとしており、地域学校協働活動の推進や定着が重要である。	各校1名の推進員の配置を継続し、地域学校協働活動の推進を図るため、地域学校協働活動として実施する事業を各校1件以上実施できるよう推進員を始め、学校や地域関係者に活動の周知を図るよう努める。	地域学校協働活動を市内32校すべてで実施するため、地域等と学校のコーディネーター役を担う地域学校協働活動推進員を全校配置を目指した。令和5年度時点で市内20校で配置していたところから令和7年2月時点では市内31校で推進員を配置し、連絡調整や体制整備の確立を図っている。	地域学校協働活動が進んでいない地域や学校区等では、実施に向けて、引き続き連絡調整や体制を整えていく。すでに地域学校協働活動を実施した地域はさらなる推進を図る。	地域学校協働活動として実施した学校数	11	校	12	19	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた。3年目となり、それぞれの学校や地域の実情に応じた様々な地域学校協働活動が実施された。地域学校協働活動が進んでいない地域や学校区等では、引き続き連絡調整や体制を整えていく必要がある。